

# 北海道内国立大学の機能強化について ～北大を拠点とする連携体制の構築～

国立大学改革強化推進補助金（平成24年度選定事業）

1 / 3

## 事業の目的

北海道内の国立大学が時代の要請に応えた人材の育成及び研究の推進を図るためには、それぞれの大学が自立して個々の特色を活かし、機能を強化していくことが必要である。そのため、北海道内の国立大学が様々な分野において連携・協力し、限られた資源を効果的・効率的に活用していくものである。

## 事業の概要

道内唯一の総合大学である北海道大学を拠点とした連携体制を構築し、教育資源を効果的・効率的に活用する他、スケールメリットを生かし、各大学の機能強化を図るために、1) 単位互換制度を利用した遠隔授業及び対面授業により、学生が受講可能な新たな仕組みを構築し、教養教育の充実強化を図る。2) 入学予定の留学生に正規課程進学後に必要となる教育プログラムを提供し、入学後の円滑な学習への移行を支援する。3) 連携してシステムの共同調達を行う等事務の共同処理を実施する。

## 事業実施校

(代表大学)  
北海道大学

(連携大学)  
北海道教育大学  
室蘭工業大学  
小樽商科大学  
帯広畜産大学  
旭川医科大学  
北見工業大学

## 主な成果目標及び達成指標

### 1) 道内国立大学の教養教育連携実施

単位互換制度に基づく遠隔授業が安定的に配信されることにより、連携大学において多様な授業の履修及び文系・理系の様々な学生の共学が可能となるとともに、人的資源の効率的な運用が可能となり、教育機能の強化を図ることができる。

#### 【主な達成指標】

- ① 連携実施のために機構を設置するとともに、事業の運営体制を構築する。
- ② 単位互換協定を締結し、連携大学の学生に単位付与できる体制を構築する。
- ③ 双方向遠隔授業システムを導入し、授業の配受信できる体制を構築する。
- ④ 双方向遠隔授業システムを利用した授業方法の開発・普及を行う。
- ⑤ 平成28年度100科目、平成29年度192科目の授業提供を目指す。

### 2) 学部・大学院入学前留学生教育の充実による国際化の推進

北海道内の国立大学が連携して一元的・集約的に実施することにより、i) 進学後の修学に必要なスキルや知識の提供による教育効果の向上、ii) 留学生教育に係る人的リソース及び予算リソースの効率化に資することができる。

#### 【主な達成指標】

- ① 連携実施のための運営体制を構築する。
- ② 学部入学前プログラムの構築・実施
- ③ 大学院入学前プログラムの構築・実施
- ④ 教職員FD・SDの検討・実施
- ⑤ ICTを活用した教育プログラムの構築・実施

### 3) 道内国立大学の事務の共同処理の推進

北海道内の国立大学で統一的な事務システムの導入や共同調達を行うことにより、各大学が個別に調達を行う場合よりもコストの削減を図ることができる。また、事務の効率化により生じた時間を他の注力すべき業務に振り替えることにより各大学の機能強化を行うことが可能となる。

#### 【主な達成指標】

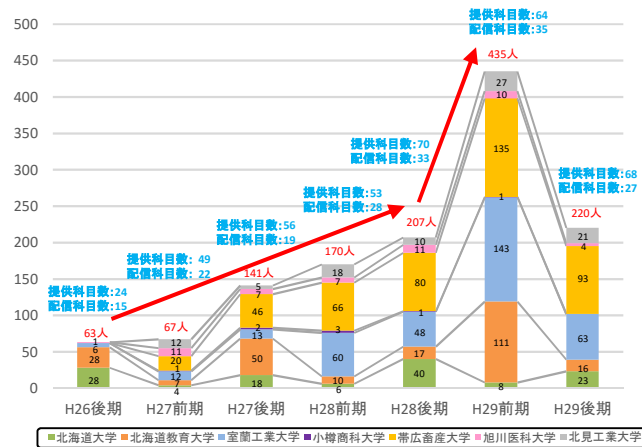
- ① 安否確認システムを導入・運用し、導入大学のリスク管理体制の強化を図る。
- ② 旅費業務システムを導入・運用し、導入大学の業務効率化を図る。
- ③ 電子購買システムを導入・運用し、導入大学の業務効率化を図る。
- ④ 共同処理が可能な事務の検討・実施

# 北海道内国立大学の機能強化について ～北大を拠点とする連携体制の構築～

## 実績・成果①

広報活動の充実（募集要項、パンフレット、リーフレットの充実）（平成27年度～）、視覚化したシラバスの導入（平成29年度～）、一部の大学間で授業時間割を統一（平成29年度～）、卒業要件単位に換算される単位互換科目数の拡大（平成29年度～）などに取組み、履修者数が大幅に増加した。

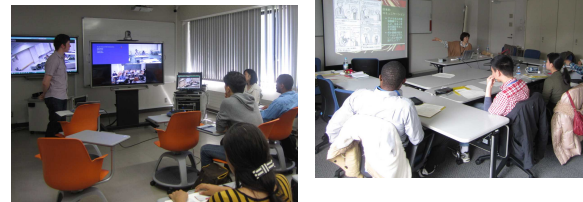
年度	提供科目数	配債科目数	履修者数(延べ人数)
平成26年度(後期のみ)	24科目	15科目	63名
平成27年度	105科目	41科目	208名
平成28年度	123科目	61科目	377名
平成29年度	132科目	62科目	655名



## 実績・成果②

### <学部入学前教育プログラム>

平成26年度から合宿型授業を実施するとともに、地理的・時間的に参加が困難な学生のニーズを踏まえ、遠隔地からも学生の都合に合わせて受講可能となるe-ラーニング教材として、「ICTスキルアップ講座」、「大学1年生ためのスタディ・スキル」、「アカデミックジャパニーズレポートの文体-」等を開発、平成29年度よりe-ラーニング形式の実施を開始し、受講者数が大幅に増加した。

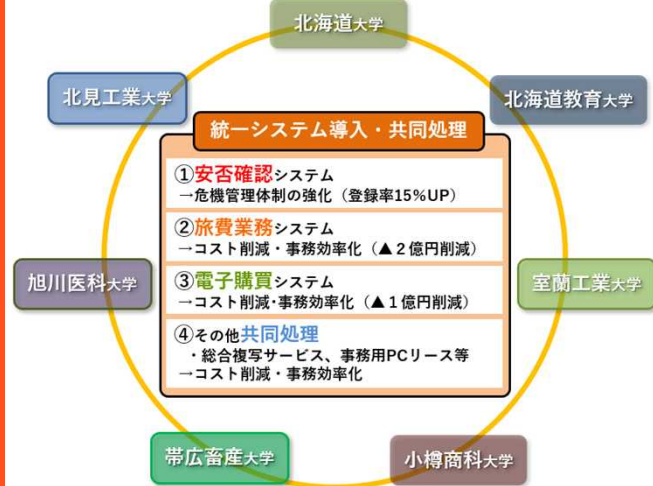


### <大学院入学前教育プログラム>

平成27年度秋プログラムから、ビデオ等の事前視聴による反転授業を活用した双方向遠隔授業システムによる授業を開始し、平成28年度秋プログラムからは、学部入学前教育プログラムと同様に、e-ラーニング教材として、「研究倫理」、「大学院生のためのアカデミックスキル」を開発、平成28年度秋プログラムよりe-ラーニング形式の実施を開始し、受講者数が大幅に増加した。

## 実績・成果③

北海道内の国立大学が連携し、様々な共同処理の取り組みを実施することによってコストの削減、事務の効率化等を実現し、各大学の機能強化に繋げた。  
 【平成26年度】安否確認システム、旅費業務システム本格運用開始  
 【平成27年度】電子購買システム本格運用開始  
 【平成28年度】事務用PCリース共同契約締結（4大学、3高専）  
 【平成29年度】総合複写サービス共同契約締結（7大学、4高専）



## 今後の予定・展望

教養教育連携実施については、単位互換制度を活用した遠隔授業・対面授業の継続及びICTの高度活用による双方向遠隔授業の推進を図り、年60科目以上の配信を目指す。また、専門科目、必修科目、大学院教養科目等の提供拡大、双方向遠隔授業システムを活用したFD・SD及びキャリア教育・公開講座の共同実施を進める。学部・大学院入学前留学生教育については、これまでの評価・分析を基にパッケージ化したe-ラーニングシステムを用い、効率的に本プログラムを継続実施するとともに、提供科目が日本人学生にも有益なものであることから連携大学所属の日本人学生にも拡大して運用する。事務の共同処理については、安否確認システム、旅費業務システム、電子購買システムの利用を更に促進し、一層の経費削減と業務効率化を図るとともに共同処理が可能な取組を継続的に検討する。

# 北海道内国立大学の機能強化について ～北大を拠点とする連携体制の構築～

## (参考) 事業の実施体制

